

責任あるオーサーシップの実現に向けて —グループワークで考える、研究活動における志向倫理—

研究成果の発表において、責任あるオーサーシップを実践していくためには、何が必要でしょうか。

本セミナーでは、「研究活動における志向倫理」と「責任あるオーサーシップ」についての講義を聴き、グループワークに取り組むことで、参加者それぞれの立場から、公正なオーサーシップを実現するためにできることを考えます。

参加者の皆様同士の議論を通じて、改めて責任ある研究活動の在り方を考えるとともに、自らの研究現場での実践に繋げていただけますと幸いです。

開催日時

令和8年12月17日(木)
13:30~17:00

開催方法

Zoomによるオンラインセミナー（参加無料・要事前申込）

プログラム(予定)

13:30	イントロダクション
13:35	講義① 「研究活動における志向倫理的アプローチの具体化に向けて」(岡林 浩嗣 氏)
14:15	講義② 「責任あるオーサーシップ:理念と実践の視点から」(東島 仁 氏)
14:45	休憩(10分)
14:55	グループワーク
16:50	講評
17:00	閉会

※タイムスケジュールは変更の可能性があります。

講師



岡林 浩嗣 氏(筑波大学生存ダイナミクス研究センター 准教授)

東京大学大学院総合文化研究科修了。博士(学術)。理化学研究所脳科学総合研究センター研究員、東京大学大学院総合文化研究科特任講師、日本チャールス・リバー株式会社フェロー/スペシャリスト、筑波大学生命領域学際研究センター講師等を経て現職。日本学術振興会研究公正アドバイザー。

専門分野:研究倫理教育、研究公正、実験生命科学、分子生物学



東島 仁 氏(千葉大学大学院国際学術研究院 教授)

京都大学大学院生命科学研究科修了。博士(生命科学)。金沢大学大學教育開発・支援センター博士研究員、信州大学医学部CITI Japanプロジェクト助教(特定雇用)、山口大学国際総合科学部准教授、千葉大学大学院国際学術研究院准教授等を経て現職。日本学術振興会研究公正アドバイザー。

専門分野:研究公正、科学コミュニケーション、科学技術社会論

参加対象者

- ・責任ある研究活動に関心のある研究者
- ・研究室主宰者等、指導的立場にいる研究者
- ・研究機関の研究倫理教育の事務担当者
- ・その他、研究倫理教育に関心のある方

参加登録方法

日本学術振興会ウェブサイトよりお申し込みください。
定員に達し次第締め切ります。

<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/symposium/seminar2026.html>



参加条件

- ・セミナー当日までに「研究倫理eラーニングコース」(eL CoRE)を履修済みの方
 - ・当日は積極的にグループワークに参加いただける方
- ※セミナー当日までに「科学の健全な発展のために一誠実な科学者の心得—[第2版]—」を通読していることが望ましい。

お問い合わせ

第9回JSPS研究倫理セミナー事務局
TEL:03-5966-5782 E-mail:jsps2026@stage.ac



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会